

## 「ワクワク」を体験して思い出作り みやまを知るワクワク体験事業



▲線香花火づくりを楽しみました

10月20日、水上小学校の6年生が、みやま市の自然や産業など地域の魅力を体験する「みやまを知るワクワク体験事業」として、清水寺散策や線香花火づくり体験などを行いました。線香花火づくり体験では、筒井時正玩具花火製造所（高田町）の皆さんに火薬の巻き方などを教わりながら作製。「最初は難しかったけど、だんだん上手にできて良かった」「家で遊ぶのが楽しみ」などの感想が聞かれました。

## 11月からの試運転に向け点火 有明ひまわりセンター火入れ式



▲スイッチを押し焼却炉に点火

10月14日、新ごみ焼却施設「有明ひまわりセンター」で火入れ式が行われました。式典には、両市の建設検討委員会の関係者など40人が出席。有明生活環境施設組合組合長の金子柳川市長と副組合長の松嶋市長、建設請負業者の株式会社タクマの南篠社長が焼却炉に点火するスイッチを押しました。同施設では11月から試運転を開始し、可燃ごみ・可燃粗大ごみの受け入れが始まります。

## 「もしも」に備え、防災意識を高める 本郷校区災害図上訓練



5つの班に分かれ意見交換

10月3日、本郷校区災害図上訓練が行われました。消防防災科学センターの3人が講師となり、災害時を想定し、家庭での備えや避難行動、地域での取り組みなどについて、グループで話し合いました。参加者からは「避難場所や経路、持ち出し品の再確認が必要。家族で話し合いたい」「避難時に手助けが必要な人に対して、誰が協力するのか毎年確認することが大事」などの意見が出され、地域で防災意識を高める機会となりました。



危険箇所などを話し合い地図に記入します

## これからもお元気で 100歳訪問



▲100歳を迎えられる松尾さん

100歳を迎えられる方と、市内最高齢の方に、市からお祝い状と記念品が贈られました。今年度市内で100歳を迎えた人は26人です。10月1日に、お祝い状を受け取られた松尾トシエさん（瀬高町）は90歳まで農作業をされていたとのこと。「これまで元気でいられたのは家族のおかげ。好きな食べ物はお肉や白米で、本を読むことが楽しみです」とこやかに話されました。

## 3分団の消防車両を更新 消防団消防ポンプ自動車更新



市消防団の消防車3台を更新しました。機動性と機能性を兼ね備えた車両として、大江分団と清水分団に3.5ト未満の消防ポンプ自動車、竹海分団に本市消防団初となる動力消防ポンプ付軽積載車を導入しました。今後消防団装備品の更新や新規導入を適宜行い、さまざまな災害に対応できるように、消防力の維持・強化に努めていきます。

## 感性豊かな詩を披露 與田準一児童文学まつり



▲石橋知晃さんの作品発表

10月16日、山川市民センターで第35回與田準一児童文学まつりが開催されました。市内小中学校から応募された609点の詩の中から、與田準一児童文学賞1点、学校賞14点、学年賞9点などの合計96点が選ばれました。表彰式では、與田準一児童文学賞に選ばれた、水上小学校5年生の石橋知晃さん（としまき）の作品「小さなお姉さん」が発表され、参加者はほほ笑ましいピソードに耳を傾けました。

## 9試合を制し県大会優勝 第41回福岡県剣道道場連盟少年少女大会出場



▲優勝の賞状を掲げる横尾さん

10月15日、瀬高小学校6年生の横尾なみさん（瀬高剣友会所属）が第41回福岡県剣道道場連盟少年少女大会の小学生女子個人の部での優勝を報告するため、市役所を訪れました。また、来年1月開催の全国大会に出場します。「5年生の時から県大会優勝を目指していたので優勝できて嬉しいです。全国大会では日本一を目指します」と力強く語りました。

## 配線工事の技量を競う大会で優勝 第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会出場



▲全国大会に出場する古川さん

9月30日、八女工業高等学校3年生の古川朋弥さん（東山中出身）が市役所を訪れ、第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会出場（電気工事部門）を報告しました。古川さんは、第20回高校生ものづくりコンテスト福岡県大会と九州大会で優勝。11月14日開催の全国大会に出場します。全国大会に向けて「良い成績を残せるよう頑張ります」と抱負を述べました。